



# 児童デイ

開所日時 月・水・木・金曜日

15時～18時

土曜日 10時～13時

児童デイ利用の学校から事業所へのお迎え費用が半額になります

・ 給付 （七月利用分から実施） 一宮市より利用者の口座に給付額が振り込まれます	・ 請求・報告 各事業所が利用状況報告書を添えて四ヶ月分をまとめて市へ請求	・ 申請 各事業所が利用者への振り込み先等を福祉課へ申請	・ 給付額 通所にかかる費用の半額が払い戻し	・ 対象者 一宮市内在住で障害福祉サービスの受給者	・ 障害者（児）通所交通費給付 一宮市障害者等通所交通費給付要綱の改正により、児童デイサービス利用者の学校と事業所間送迎について、平成二十年度七月利用分から利用者負担額の半額を一宮市から補助を受けることができます。
--	--	---------------------------------	---------------------------	------------------------------	--



こんなに大きくなったミニトマトです



## ～地域差の大きい児童デイ～

先日、関東地区の児童デイ職員の方と話をする機会がありました。その話の中で我々の地域と関東圏との療育環境の違いを知り、とても驚きました。

関東では児童デイサービスのほとんどが療育型である※「I型」であり、日中のお預かりサービスというよりは療育機関という認識が強いそうです。その背景には

1. 早期療育の有効性が理解されており、行政・医療・保健機関との連携ができているということ
2. 療育により障害をもった方が高いレベルで自立できているということと、ジョブコーチの充実などにより障害者の一般就労が進んでいるということ



3. その結果、福祉サービスのニーズが加齢とともに増えていく逆三角形型なのに対して、未就学児のニーズは多いが、加齢とともに減少していく正三角形型へと変化しつつあるということ

という実態があるからだそうです。当事者とその家族にとって非常に理想的な状態だと思いますし、実際にそれが実現できているということにも驚きました。さまざまなハードルはありますが、我々の住む地域で少しでも実現できるよう、行政や医療、保健所や児童相談所との連携を行い、療育の重要性を呼びかけていくことが必要であると感じました。

※「I型」は未就学児童が7割あり、サービス管理責任者の配置が必須となります。まごころ及びその他の事業所のほとんどが放課後お預かり（タイムケア型）の「II型」です。（また、II型の単価はI型の約半分であり、サービス単独での運営は非常に困難です。）

## ミニデイだより

### 心を養う



ある日のミニデイ・・・  
皆さんにやりたい事をそれぞれやっていたきました。  
テーブルの上のあじさいを描かれる、  
T・S・Aさん。  
思い思いのことばを習字で書いてみる、  
E・F・Kさん。  
そして、Yさんはピアノに向かい、歌いながらキーボードを弾くOさん。  
絵本を読むMさん。  
皆さんの夢中になっている姿はとても美しく、目の輝き、指の運び、そして伸びた背筋・・・心を養う時間と人生をいつも大切に生きてみえます。  
笑って、笑って、書いて、描いて、歌って・・・この日もまた楽しい一日でした。

朝おきて チャンネルまわす えんかだね  
Oさんの句

野山に 美しく 咲きほこる花々  
Iさんの書より



### 〈お便りから〉

まごころの運転手さんへ  
去年はありがとうございました。  
今は4年生です。バスと電車で  
ろう学校へ行っています。もうな  
れました。ろう学校は楽しいで  
す。ぼくは書言己に当せんしま  
した。元気にがんばってください!!

## 心づれづれ

### 笑顔に思う



デイサービスの仲間の一人に、ひそかに尊敬する女性が見える。会話から察するに私(81才)より5～6才年下ではなかろうか。そのおっとりとした物腰と笑顔は、お会いする度に温かく包まれる様な安らぎをおぼえる。  
歩行が不自由で、おそらく痛みもあると思われるのに「怒っていても一日。笑っていても一日。」とさりりとされる。  
それにしても、あのほほ笑みはどこから来るのだろう。天性だろうか、永い年月に培われた精神力だろうか。現実をありのままに受け入れて生きようとの諦観だろうか。  
やがて、私にも思うにまかせぬ日が訪れる事だろう。その時あの方の様に笑顔でいられるかどうか、正直なところまるで自信がない。

いつしかに少女にかえり語り合う  
れんげにつばな まりつきかくれんぼ

デイのお仲間と思ひ出話をします。  
他にもお手玉、おはじき、影踏み、笹舟・・・

声はずませ母にまつわる児の如く  
一週間の出来事を告ぐ

私ってこんなにおしゃべりだったかしら、  
ヘルパーさんお気の毒。

K・T



※ろう学校から児童館への移動サービス送迎を利用されていた、お子さんからのメッセージをいただきました